

日本ヘーゲル学会「フロンティア研究部会」申込の流れについて

2022年6月末日

フロンティア研究部会運営委員会

1. 企画種別（仮）

【1】「研究発表」（個人、事前審査あり）

- 60分（発表20分＋ディスカッション40分）
- 90分（発表45分＋ディスカッション45分）

【2】「研究構想発表」（個人、事前審査なし）

- 60分（発表20分＋ディスカッション40分）
- 90分（発表45分＋ディスカッション45分）

【3】「卒論・修論・博論構想発表会」（個人、事前審査なし）

- 60分（発表20分＋ディスカッション40分）
- 90分（発表45分＋ディスカッション45分）

【4】「ワークショップ」（2~5名ほどによる企画、事前審査あり）

- 1件につき2時間～2時間30分程度（目安）

【5】「合評会」（2~5名ほどによる企画、事前審査あり）

- 1件につき2時間～2時間30分程度（目安）

【6】その他、企画提案（事前審査あり）

※「事前審査」は、担当理事による簡便な内容確認とする。

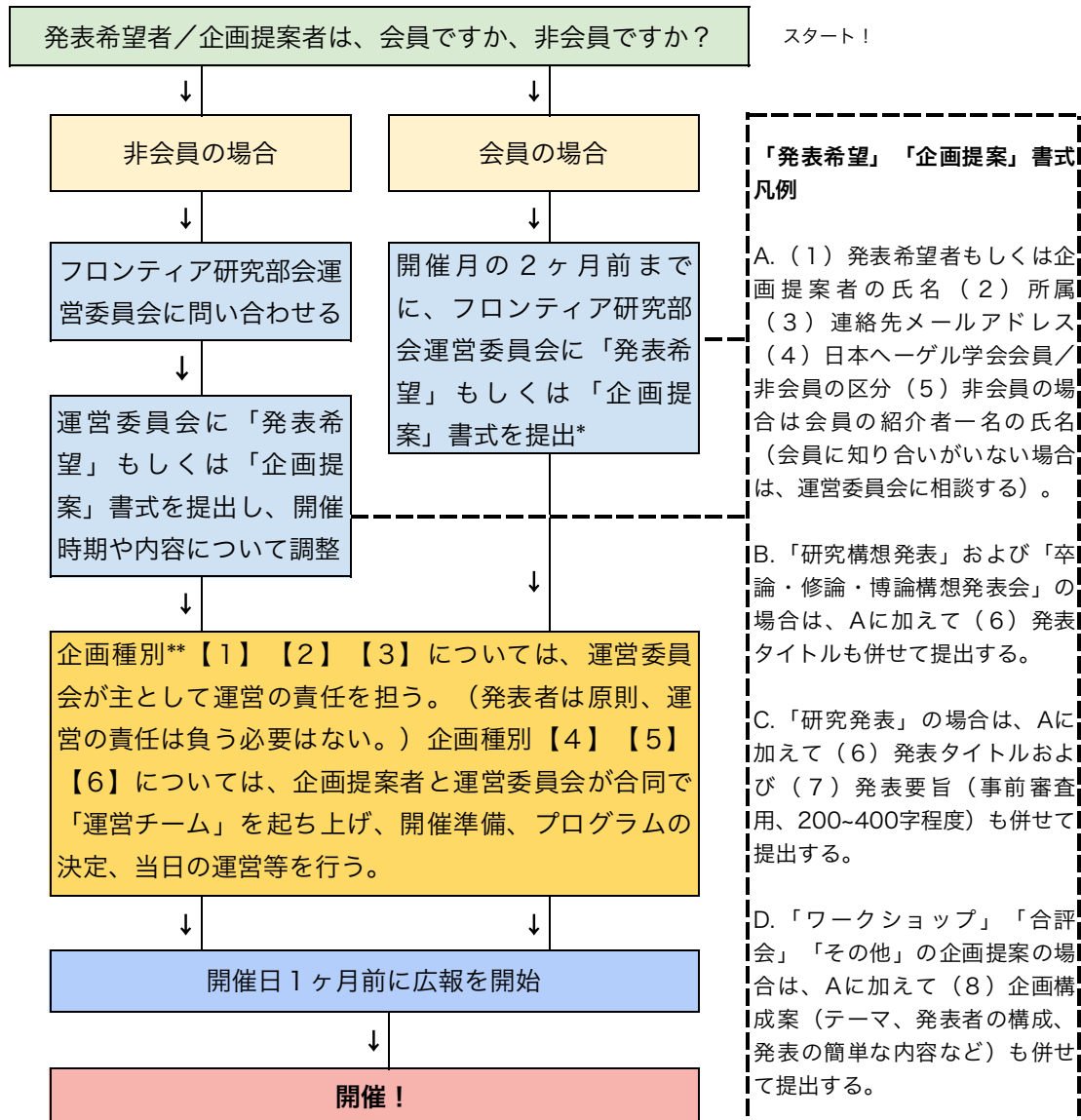
2. 開催フロー

- 発表・企画の申込は随時受け付ける。
- 9月定例開催については、以下のフローを基本とする。
 - ❖ 7月末：発表希望・企画提案の申込締め切り
 - ❖ 8月中旬：事前審査
 - ❖ 8月下旬：フロンティア研究部会開催の告知・宣伝開始
 - ❖ 9月下旬：フロンティア研究部会開催
- 12月開催の場合、以下のフローを基本とする。
 - ❖ 10月末：発表希望・企画提案の申込締め切り
 - ❖ 11月中旬：事前審査
 - ❖ 11月下旬：フロンティア研究部会開催の告知・宣伝開始
 - ❖ 12月下旬：フロンティア研究部会開催
- 3月開催の場合、以下のフローを基本とする。
 - ❖ 1月末：発表希望・企画提案の申込締め切り
 - ❖ 2月中旬：事前審査
 - ❖ 2月下旬：フロンティア研究部会開催の告知・宣伝開始
 - ❖ 3月下旬：フロンティア研究部会開催
- いずれの場合も、開催2ヶ月前を申込締め切りとする。
- 9月開催時に発表希望者が多い場合、12月ないし3月に回ってもらうことがある。
- 日程、必切等について上記は目安であり、具体的には運営員会からの広報により会員に知らせる。

【開催フロー・イメージ図

日本ヘーゲル学会 フロントティア研究部会開催フロー

*フロントティア研究部会は、広くヘーゲルに関連するテーマ（領域横断テーマもふくむ）による各種学術企画**を学会公認のもとに開催できる仕組みです。



*具体的な申込期限については、運営委員会にお問い合わせ下さい。また適宜、広報でもお知らせいたします。

**企画種別には以下があります。【1】「研究発表」（個人、事前審査あり）【2】「研究構想発表」（個人、事前審査なし）【3】「卒論・修論・博論構想発表会」（個人、事前審査なし）【4】「ワークショップ」（2~5名ほどによる企画、事前審査あり）【5】「合評会」（2~5名ほどによる企画、事前審査あり）【6】その他、企画提案（事前審査あり）

3. 申込方法および内容について

発表希望者・企画提案者は、以下の項目をふくむ「発表希望」もしくは「企画提案」書式をフロンティア研究部会運営委員会に提出する。

A. **(1) 発表希望者もしくは企画提案者の氏名**

(2) 所属

(3) 連絡先メールアドレス

(4) 日本ヘーゲル学会会員／非会員の区分

(5) 非会員の場合は会員の紹介者一名の氏名（会員に知り合いがない場合、運営委員会に相談する）。

B. 「研究構想発表」および「卒論・修論・博論構想発表会」の場合、

上記 A に加えて、**(6) 発表タイトル**も併せて提出する。

C. 「研究発表」の場合、上記 A に加えて

(6) 発表タイトルおよび

(7) 発表要旨（事前審査用、200~400 字程度）も併せて提出する。

D. 「ワークショップ」「合評会」「その他」の企画提案の場合、上記 A に加えて

(8) 企画構成案（テーマ、発表者の構成、発表の簡単な内容など）も併せて提出する。